

中学生が町の未来を考える

10月12日に町の子どもたちが普段感じていることなどを発表する「MANABUフォーラム」が行われました。フォーラムの中で、中学生が考えた町の未来についての発表を行いました。今回はその発表内容をご紹介します。

(順不同、敬称略)

『これからの玉村町のために』

玉村中学校 柳澤 俊輔

皆さんは、10年後の玉村町をどんな町にしたいですか？ 私は、高齢者から子どもまでが互いに助け合える町にしたいです。ところで、皆さんは花火大会の翌朝、北部公園で何が行われているかご存知ですか？

そこでは、ゴミ拾いのボランティアが行われています。私は、そのボランティアに参加しました。その時、驚きの光景を目にしました。大人から子どもまで、たくさんの方が参加し、助け合い、町をきれいにしようとゴミを拾っていたからです。他にも、小中学校の登下校時に、多くの皆さんが、旗振りをしてくださり、子どもの安全を見守っている光景をよく目にします。私は、少子高齢化が進行する中で、このような助け合いの心を大切に守らなくてはいけないのだと強く感じました。皆さんも、今の助け合いについての現状と課題について考えてみてください。

国人も群馬県を訪れるようになりました。

皆さんの人が訪れるようになった今、交通面で玉村町に訪れやすくなった今こそが、「玉村町」を日本中に、いや世界中に発信をするチャンスなのではないのでしょうか。助け合い、交流を玉村町のブランドとして、今こそ強化し、売り出すべきです。そのために私は、ボランティア、玉村宿のイベント、伝統行事など、交流、助け合いの場に友人や家族と共に参加し、積極的に盛り上げていきたいです。

もう一つ、私の理想の玉村町があります。それは、交流が更に深まる町です。私は、海外派遣に参加しました。その時、セントラルワシントン大学にある玉村町のバラを見ました。説明では「これは玉村町との交流で、玉村町から贈られたバラです」と話していました。そして、エレンズバークの人は、「これはすばらしい交流の証だ」と言い、大切に育てていました。その様子を見て、私は遠くの人同士だとしても、つながりを大切にしている、そんな所から交流の大切さを肌で感じました。そして、この交流が途切れることなく、ずっと続いて欲しいと強く思いました。

さらに、最近スマートインターチェンジや、その周辺に道の駅である「玉村宿」ができ、他の市町村から玉村町に来やすくなり、交通の面でも交流のしやすい町になりました。そして、群馬県全体では、富岡製糸場が世界文化遺産に認定されたので、たくさん日本人、さらには外

ました。私のクラスは32人。手を挙げたのはクラスの3分の1くらいでした。正直、私は自信をもって手を挙げられませんでした。

このことをきっかけに玉村町についてもっと考えようと思いました。

考えてみると、最近近所の人とのつながりが減ってきていると感じます。このことは重大なことをもたらすと思うのです。例えば何か災害が起こったとしましょう。このような事態が起こったとき地域の人と協力しないと解決できないことがたくさんあります。

玉村町は大きな被害を受けることが少ないため、あまり危機感を感じないかもしれませんが、いざというときに協力し合うことができなければ意味がないと思うのです。

それでは、なぜ近所の人とのつながりが減ってきているのでしょうか。それは、今日のパネルディスカッションの議題にもあげられていた携帯、スマートフォンなどの使い方にあると思うのです。

最近、携帯やスマートフォンを使いながら歩いている人や食事をしている人などを多く見かけます。ですが、それらは必ずしも携帯やスマートフォンがなくてはできないことでしょうか。

そんなことはありません。このようなことが、近年の近所の人との関係にもつながってくる気がしませんか。近くにいるはずの人がずっと遠くにいる気がしませんか。身近な人とのつながりを気にせず、遠くにいる人とのつながりを気にしている人のほうが多くはありませんか。

何をすることもインターネットを通さないとできない状況になってきているのでしょうか。身近な人よりもSNSでつながっている人を優先的に見えていないのでしょうか。

私が冒頭に述べた「近所の人とのつながりが減ってきている」というのは、近所の人との関係が薄れてきているのです。これからの玉村町を考えたときに、携帯やスマートフォンを使い方をもう一度見直し、本当に大切にしなければいけないものは何かを皆さんで考えていきましょう。

この質問の本当の意味が分かってくる気がしませんか。

携帯やスマートフォンの普及により身近な人との関係が薄れてきています。これからの玉村町を考えたときに、携帯やスマートフォンを使い方をもう一度見直し、本当に大切にしなければいけないものは何かを皆さんで考えていきましょう。

玉村町について考える

南中学校 横堀 舞

「近所の人のフルネームや家族構成がわかる人？」

ある先生が私たちにそう言い

